

平成17年度 社団法人日本自閉症協会千葉県支部活動報告

【全般的活動】(大屋支部長)

発達障害者支援法が、平成17年4月1日から実施され、平成18年4月1日に障害者自立支援法が実施されました。自閉症を含む障害者福祉の仕組みが変わるとともに、地方行政の役割が大きくなっています。日本自閉症協会千葉県支部は、千葉県全体の福祉行政に積極的に関与するとともに、各市町村での活動に対応可能な組織への変革を目指しています。また、日本自閉症協会全体の組織改革においても、主導的な役割を果たしています。会員数は17年4月の時点で915名から、18年4月の時点で993名に増加しています。

以下、千葉県支部として行った活動を説明いたします。

1. 千葉県に要望書を提出しました。
 - 1) 平成17年8月30日、堂本暁子千葉県知事に、千葉県における自閉症支援に関して14項目、7頁の要望書を提出しました。
 - 2) 平成17年10月19日、千葉県教育委員会佐藤健太郎教育長に13項目、8頁の要望書を提出しました。
 - 3) 平成17年11月21日、千葉県山口忠則健康福祉部長に、外出支援のための全県セダン特区申請及び福祉有償輸送に関する運営協議会設置に関する要望書を提出しました。
 - 4) 平成17年12月19日、千葉県山口忠則健康福祉部長に、自立支援法施行に向けた要望書を提出しました。
2. 千葉県の委員会等に委員として、下記の役員が参加しました。

第三次千葉県障害者計画推進作業部会 大屋 滋
障害者グループホーム等のあり方研究会 古屋 道夫
入所施設等のあり方研究会 白水 幹久
障害者差別をなくすための研究会 佐藤 彰一
「誰にでもわかる」福祉サービス評価システム作業部会 大屋 滋、白水 幹久、佐藤彰一
「新たな地域福祉像」実現のための事業と財源のあり方研究会 竹蓋 伸六、佐藤 彰一
千葉県発達障害者支援センター連絡協議会 大屋 滋
千葉県発達障害者支援体制整備検討委員会千葉県自閉症 大屋 滋
千葉県発達障害者支援システム検討作業部会 大屋 滋
千葉県人権施策推進委員会 大屋 滋
袖ヶ浦福祉センター強度行動障害入退所審査等審議会 大屋 滋
千葉県健康福祉部指定管理者選定委員会専門部会(袖ヶ浦福祉センター、長浦ワークホーム) 大屋 滋
千葉県広域特別支援連携協議会 大屋 滋
3. 自立支援法についての提言、要望活動を行いました。
 - 1) 衆議院議員選挙(平成17年9月4日投票)に際し、千葉県内の候補者に対して公開質問状を提出しました。
 - 2) 平成17年12月、各分会から、各市町村に自立支援法施行に向けた要望書を提出しました。
 - 3) 障害者自立支援法に関するメーリングリストを立ち上げました。
 - 4) 会員対象の障害者自立支援法に関するアンケート調査を行いました。
4. 障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例案(仮)の成立に向けて積極的に活動しました。各分会から、地域の県会議員に対して説明と要望を行いました。
5. 平成17年3月25日、発達障害者の医療機関受診支援に関するセミナーを、千葉県、千葉県医師会、千葉県歯科医師会と共催しました。
6. 支部役員、分会長の緊密な連携の元、支部の運営を行いました。
 - 1) 1ヶ月に1回支部役員会、2ヶ月に1回分会長会議を開催しました。
 - 2) 支部役員・分会長メーリングリストを活用して、迅速な情報と意見交換を行いました。

7. 支部長より会員宛のニュースレターを No.25 より No.28 までを発行しました。

8. 日本自閉症協会の活動へ参画しました。

理事・組織運営検討委員：大屋 滋、 理事：佐藤彰一、
評議員：北尾敏明、 ASJ 互助会：坂本 秀美、
高機能関連事業：坂本 秀美、大野 留美、 ホームページ委員：朝倉 潤一
出版部長 古屋 道夫

9. 日本自閉症スペクトラム学会、日本発達障害学会、全国自閉症者施設協議会千葉大会などの大会の活動に参画しました。

10. 平成 18 年 3 月 4 日、事務所を移転しました。

11. 地方分権に対応できる支部組織改革を検討しました。平成 18 年度に千葉県自閉症協会、各市・地域に地区自閉症協会を設立する体制を整えました。

【各部局活動】

事務局（事務局長：北尾）

1. 協会の組織改革検討を先取りし、千葉県内の自閉症児者団体の活動の自由度を高め、より地域に密着した活動の実現を目指し、千葉県支部組織改革案を立案検討し、「千葉県自閉症協会」の設立準備を推進し、また「地区自閉症協会」設立に向けた支援策を実施しました。
2. 障害者自立支援法案の審議に向け、発達障害者支援法の精神を同法案に盛り込む運動を展開し、千葉県選出衆議院議員選挙候補者宛に公開質問状を発信し、44名中21名から回答を受け、その回答結果を支部ホームページに掲載しました。（ほとんどの回答者が「障害者」に広く発達障害者を含めることに賛同）
3. 自立支援法施行に向け、各市町村への「自立支援法施行に向けた要望書雛形」を作成し、各分会での取り組みを支援した。また、支部会員の支援費利用実態と新制度でのニーズに関するアンケートを実施し、会員141名からの回答を集約し分析しました。
4. 10月15日JR労組主催の親子列車の旅に、千葉県支部として初めて参加。千葉県支部より、10組20名+引率者1名 合計21名参加。JR特別団体列車にて千葉駅～安房鴨川を往復しました。太海フラワーパークにて、マジックショー、鉄道模型運転コーナー、鯛の海釣堀、フラワーパーク散策等のイベントを堪能しました。
5. 3月4日に、CASの移転に伴い、支部事務所を下記に移転しました。
〒260-0856
千葉県千葉市中央区亥鼻2-9-3 千葉県発達障害者支援センター内
これに伴い、支部幹事会で、社団法人日本自閉症協会千葉県支部事務所設置規定を採択しました。

広報部（部長：朝倉）

1. 広報誌「みち」の発行

みち69号を平成17年6月20日に2,550部、みち70号を平成17年12月13日に2,600部発行しました。

みち69号では、千葉県の受診サポート手帳と障害者人間ドックモデル事業を紹介するとともに、各分会の活動の紹介として、東葛地区分会、Wi11クラブ、松戸市分会の活動を紹介するとともに、平成17年3月13日に、有限会社ヴィ王子取締役小島靖子先生を講師にお招きして開催しました支部講演会「発達障害者の就労支援 現場からのレポート」の講演抄録を作成し、掲載いたしました。

みち70号では、夏休み恒例の各分会主催の「親子の旅」の報告、安房地区分会活動紹介を掲載するとともに、平成17年6月12日に、淑徳大学教授柏女霊峰先生を講師にお招きして開催しました支部講演会「発達障害者支援法と障害者自立支援法案 その目的・趣旨、展望、課題」の講演抄録を作成し、掲載いたし

ました。

2. 千葉県支部ホームページ、メーリングリストの運営

県支部のホームページ、メーリングリストを運営しました。ホームページには開設(1998年9月22日)以来通算で11万件を超えるアクセスがあります。また、会員用メーリングリストには現在120名を超える会員が参加され、3,000件を超えるメールのやりとりがあり、自閉症児者支援に有益な情報交換の場となっています。

総務部報告(部長:矢作)

1. 日本自閉症協会「いとしご」「かがやき」直送会員名簿作成と管理及びそれに伴う分会と協会との連絡調整。
2. 会員の入・退会受け手続き。
3. 支部への問い合わせに資料や入会申し込み書の送付。
4. 県・日自振(治療教育相談)補助金申請他事務業務。
5. 日常の金銭出納及び会計帳簿、伝票等諸証書、預金通帳の管理 等金銭管理業務。
担当者 一般会計 渡邊政志 特別会計 荻野あいこ
6. 個人、団体会員、支部賛助会員への連絡
7. 親子の旅事業の事務処理と11月23日 日帰り親子遠足(つくば)の実施。

事業部(部長:野澤)

1. 日本自転車振興会補助事業 (11月13日)
「自閉症のための音楽療法」講演と音楽療法セッションを企画、開催しました。
講師 英国認定音楽療法士 高橋真喜子氏 杉野正枝氏
(県障害者スポーツ・レクレーションセンター)
2. 千葉県支部主催 講演会の企画/開催をしました。(2月5日)
演題「発達障害児者への支援」
講師 北海道大学大学院教育学研究科 教育臨床講座田中康雄教授
(千葉県労働者福祉センター)

Will クラブ事業部(部長:坂本)

1. 講演会
 - ・平成17年6月19日(日) 千葉県教育会館
「本人が必要としている支援〔成人期〕について考える」
講師 社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所 主任相談員 柏木 理恵 先生
 - ・平成17年7月17日(日) 千葉経済大学
「ソーシャル・ストーリーによる支援」
講師 京都市児童福祉センター診療所副院長 門 眞一郎 先生
 - ・平成17年10月23日(日) 千葉県教育会館 新館
「安定と自立に向けて～成人期の社会適応について～」
講師 長野県精神保健福祉センター 日詰 正文 先生
 - ・平成18年2月25日(土) 千葉ハーモニープラザ
「子どもに障害をどう説明するか すべての先生・お母さん・お父さんのために」
講師 横浜市立篠原西小学校教諭(個別支援学級担任) 相川 恵子 先生
2. 座談会
 - ・平成17年5月28日(土) 「思春期の問題について」
 - ・平成17年7月9日(土) 「思春期の問題について Part-」
 - ・平成17年10月1日(土) 「性の問題 思春期編 Part-」
講師 順天堂大学教授 田中 純夫 先生
 - ・平成18年1月28日(土)
「子どもに障害をどう説明するか すべての先生・お母さん・お父さんのために」

講師 横浜市立篠原西小学校教諭(個別支援学級担任) 相川 恵子 先生

3. 親子の旅
平成17年12月23日(金)クリスマスお台場ツアー
4. 定例会
8月を除く毎月実施
5. その他
HFPDD・ASネットワーク会議(関東地区)平成18年2月19日(日)
HFPDD・ASネットワーク会議(全国)平成18年3月5日(日)

【平成17年度活動日誌】

(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

平成17年

- 4・16 役員会(CAS)
- 5・7 役員会・分会長会議(CAS)
- 5・15 日本自閉症協会理事会・評議員会・総会出席(こどもの城)
- 6・12 第34回総会と講演会
「発達障害者支援法と障害者自立支援法案 - その目的・趣旨、展望、課題 - 」
講師 淑徳大学教授 柏女 霊峰先生(千葉県労働者福祉センター)
- 6・19 Willクラブ講演会(CASと共催)(県教育会館)
「本人が必要としている支援(成人期)について考える」
講師 柏木 理江先生(社会福祉法人嬉泉 子どもの生活研究所 主任相談員)
- 6・20 会報「みち」69発行
- 7・2 役員会(CAS)
- 7・15 県盲聾養護学校P連 社会参加と自立・就学啓発推進会議出席
- 7・16~17 東総地区キャンプ ピアスパーク しもつま(茨城県下妻市)
- 7・17 Willクラブ講演会(CASと共催)(千葉経済大)
「ソーシャル・ストーリーによる支援」
講師 門 眞一郎先生(京都市児童福祉センター診療所副院長 児童精神科医)
- 7・19 千葉県障害福祉研究会(CAS)
- 7・23~24 日本発達障害学会・シンポジウム参加(千葉大学)
- 7・31 君津地区キャンプ 大貫海岸 富津さざなみ館
- 7・31 市原・長生山武・習志野・八千代ディキャンプ 海神公民館
- 8・2 印旛地区ディキャンプ 那珂湊海浜公園・大洗水族館
- 8・4~5 松戸・東葛地区キャンプ ウェルサンピア埼玉おごせ
- 8・9~10 市川・船橋地区キャンプ 手賀の丘少年自然の家
- 8・16~19 安房地区キャンプ 民宿 醤油屋(和田町)
- 8・26 千葉地区キャンプ 蓮沼ガーデンプール
- 8・29 衆議院選挙千葉県内立候補者へ自閉症・発達障害の人への
政策に関するアンケート調査依頼
- 8・30 県へ要望書提出
- 9・4 日本自閉症協会高機能自閉症・アスペルガー症候群支援事業企画会議出席
- 9・9 Willクラブ座談会「本人への告知 思春期編パート2」
講師 田中純夫先生(順天堂大学助教授)(CAS)
- 9・10 役員会・分会長会議(CAS)
- 9・10 みんなで語ろう!「ちばの特別支援教育」参加(県青少年女性会館)
- 9・11 Willクラブ座談会「学校生活を送る上でー学齢期編」
講師 菅谷恵子先生(船橋市立高根台第一小 情緒障害児学級担任)(CAS)
- 10・1 Willクラブ座談会(船橋市勤労市民センター)
高機能自閉症・アスペルガー症候群のための支援「性の問題 思春期編パート3」

- 講師 田中純夫先生（順天堂大学助教授）
- 10・1～2 日本自閉症協会支部役員連絡会出席（こどもの城）
- 10・15 J R労組主催の親子列車の旅、千葉県支部として初参加。
- 10・19 県教育庁へ要望書提出
- 10・23 Will クラブ講演会(CAS と共催)（障害者職業総合センター）
高機能自閉症・アスペルガー症候群のための支援シリーズ
「安定と自立に向けて ～成人期の社会適応について～」
- 講師 日詰正文先生（長野県精神保健福祉センター）
- 11・13 「自閉症のための音楽療法」講演と音楽療法セッション
講師 英国認定音楽療法士 高橋真喜子氏 杉野正枝氏
（県障害者スポーツ・レクリエーションセンター）
- 11・19 役員会・分会長会議（CAS）
- 11・21 福祉有償輸送、セダン特区についての要望書を千葉県健康福祉部に提出
- 11・23 親子遠足（つくば）
- 12・3 日本発達障害ネットワーク設立記念フォーラム参加（成蹊大学）
- 12・10～11ペアレントメンター養成講座参加（自閉症協会主催）
- 12・13 会報「みち」№70 発行
- 12・19 県へ自立支援法施行に向けた要望書提出
- 12・23 Will クラブ親子の旅（お台場）
- 平成 18 年
- 1・29 Will クラブ座談会 「子どもに障害をどう説明するか」
講師 相川 恵子先生（横浜市立篠原小学校教諭、特別支援学級担任）（船橋市中央公民館）
- 1・21 役員会・分会長会議（千葉市ハーモニープラザ）
- 2・5 講演会「発達障害児者への支援」
講師 北海道大学大学院教育学研究科 教育臨床講座田中康雄教授（千葉県労働者福祉センター）
- 2・18 役員会・分会長会議（CAS）
- 2・19 高機能自閉症&アスペルガー症候群ネットワーク会議参加 主催日自協
助言者 中村 和彦（浜松医科大学精神神経科） 尾崎 ミオ（東京都支部、当事業企画委員）
- 2・25 Will クラブ講演会
高機能自閉症・アスペルガー症候群のための支援シリーズ（CAS と共催）
「子どもに障害をどう説明するか すべての先生・お母さん・お父さんのために」
講師 横浜市立篠原西小学校教諭(個別支援学級担任) 相川 恵子先生（千葉市ハーモニープラザ）
- 3・4 事務所移転作業
- 3・18 役員会・分会長会議（CAS）
- 3・25 発達障害者の医療機関受診支援に関するセミナー。千葉県、千葉県医師会、千葉県歯科医師会と共催。

以上